

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	現在は身体拘束の実施はないものの、日々の不適切ケア防止や虐待防止などについて、職員一人一人の気づきや意識を持ってケアをしていく必要がある。	身体拘束の種類、弊害を学び、職員間で身体拘束のない介護について検討し、それぞれが不適切なケアから虐待や事故につながらないようにしていく。	身体拘束のないケアについて学ぶ。 ・身体拘束防止の指針と取り組みの勉強会 ・2か月に1回の適正化委員会の開催	12 か月
2	10	コロナ禍ではあるが、面会については玄関先で実施しているが、居室担当者が直接ご挨拶する機会がなかったため、今後は担当者が勤務しているときなどは直接家族とお話をする機会を設ける必要がある。	担当職員が勤務しているときは、家族に挨拶をしたり、ご本人の様子などを明るくお伝えするようにしていく。	直接お会いしてご挨拶したり、あかね新聞などに個々の状況を伝えるようなメッセージやエピソードなどを掲載していくように努めます。	12 か月
3	33	事業所としては、終末期ケアの経験あるが、交代勤務であり、実際に携わることができるばかりではない。職員一人一人にとって、人生の先輩である利用者様に心を寄せて終焉を心置きなく過ごしていただく必要がある。	看取り介護の指針、流れなどを今一度職員が把握し、利用者様の状態に真摯に向き合うことが大切。看取り後の振り返りをするこことで、死というものに対して受け止めることができるようにしていきたい。	人生の終末期を家族とともにホームで迎えていただけることに感謝しながら、看取り介護を実施した場合は、職員会議などで反省を含めた気づきなどを出し合って共通の意識をもてるように努めていきます。	12 か月
4					か月
5					か月

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。